



JAL不当解雇撤回ニュース

No513 号 2016.11.10
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL:03-3742-3251 FAX:03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekkai.com>



植木社長、 争議解決の決断を!

北風が冷たい 10 月 30 日、植木社長が住む千葉県新浦安駅で 3 争議解決への支援と協力を求めて、71 名による宣伝行動が行われました。寒さゆえ人出が少なかったわりにビラの受け取りは良好で、南口北口で 820 枚がまかれました。遠巻きに JAL 社員が険しい表情で見つめる中、たくさんの激励の声を頂戴し、5 回目となる新浦安駅前宣伝&アピールウォークは概ね成功裡に終了しました。社長へのメッセージカードは 4000 筆を超え、既に植木社長の目に届いています。JAL は内部留保が 1 兆円を超えましたが、稼働時間延長せざるを得ないほどの人手不足です。争議を解決できない理由は見当たりません。あとは社長の決断一つなのです。



「指名解雇、こんな解雇は許されない。この解雇が撤回されなければ、このまま放置しては、また御巣鷹山事故が起こるのではないか」
半失業貧困ネットワーク小柳さん



「管財人は事実の反する大ウソで交渉を妨害した。誠実な交渉が行われていれば確実に回避できた解雇だ。手続きに瑕疵があったのだから、解決の為のテーブルにつけ！」 堀弁護士



「ある日突然首を切られていいのでしょうか。JALの現状を知ってください」
千葉うたごえ協議会

「パワハラ・セクハラ・長時間労働・そして解雇、闘う組合の存在は大事。原告団は働く権利と安全を求めて闘っている。裁判所・経営・国家権力が一体となって仕組まれた解雇、管財人の違法行為が明らかになった今、直ちに撤回を！」
千葉労連本原議長



「毎年、この時季になると希望退職か解雇かと責められたことを思い出す。公正公平なはずの管財人が嘘と脅して労使交渉を歪め、解雇を強行した。闘う組合を差別、敵視する限り JAL の真の再生はない」
内田女子原告団長